

IBM Maximo Asset Performance Management for Energy and Utilities SaaS

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

IBM Maximo Asset Performance Management for Energy and Utilities SaaS は、可視化、IoT データ統合、およびユーティリティー業界のビッグデータ・ニーズを処理するためのデータのような機能とともに、コグニティブ・アナリティクス、記述分析、予測分析および規範的分析のツールを提供します。

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Maximo APM for E&U SaaS – Standard User

本「クラウド・サービス」のサブスクリプションには、「クラウド・サービス作成物」により有効化されるユーザー・アプリケーション構成、データ科学および開発の機能および機能が含まれます。

- a. 管理インターフェースを介して「クラウド・サービス」を管理する機能
- b. システム統合の促進に役立つ、お客様システムと第三者システム間でのデータや結果のインポートおよびエクスポート
- c. イネーブリング・ソフトウェアを使用した、それぞれの環境に対する「クラウド・サービス作成物」の作成または変更 (IBM ILOG CPLEX Optimization Studio は除く)
- d. 「クラウド・サービス作成物」の作成または変更時における「気象コンテンツ」の活用
- e. 異なるソースからのデータの統合および視覚化
- f. データ分析
- g. レポート作成およびコラボレーション

1.2 オプション・サービス

1.2.1 IBM Maximo APM for E&U SaaS – Decision Optimization User

このサービスにより、お客様はイネーブリング・ソフトウェアである IBM ILOG CPLEX Optimization Studio を使用した、それぞれの環境に対する「クラウド・サービス作成物」を作成するか、または変更できます。

1.2.2 IBM Maximo APM for E&U SaaS – Limited User

このオファリングのユーザーは以下の機能へのアクセスのみ有します。

- a. 「制限付きユーザー」は、システムにアクセスし、ダッシュボードなどの読み取り専用機能を使用することができます。
- b. レポートをダウンロードするか、または事前定義されたレポートを生成することができます。

1.2.3 IBM Maximo APM for E&U SaaS – Asset

「クラウド・サービス」のサブスクリプションには、以下の機能が含まれます。

- a. 資産分析は、「クラウド・サービス」で管理できる資産の最大数を測定および定義するために使用されます。
- b. これにより、「Standard User」が「クラウド・サービス」またはその他のカスタマイズ構築した分析モデルに含まれる資産に関する分析モデルを実行できるようになります。
- c. これにより、「制限付きユーザー」は、資産に関して、「クラウド・サービス」またはカスタマイズ構築に含まれる読み取り専用機能にアクセスできるようになります。

1.2.4 IBM IoT for Energy and Utilities Weather Data on Cloud

「クラウド・サービス」のサブスクリプションには、以下の機能が含まれます。

- a. 「クラウド・サービス作成物」で使用するための、アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) を介した「気象コンテンツ」へのアクセス
- b. 「クラウド・サービス」で利用できる「気象コンテンツ」可視化機能へのアクセス

1.2.5 IBM Maximo APM for E&U – Non-Production SaaS

本「クラウド・サービス」により、お客様は、「Standard User」に提供される Maximo Asset Performance Management for Energy and Utilities SaaS 機能を使用できますが、非実稼働環境での使用に制限されます。非実稼働の使用とは、テスト、性能調整、障害診断、内部ベンチマーク、ステージング、品質保証活動、および公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の「クラウド・サービス」オファリングに対する追加または拡張の開発など、社内の非実稼働活動と定義されます。

1.2.6 IBM Maximo APM for E&U – Visual Insights Instance

本サービスでは、人工知能の能力を利用して、異なった出力や欠陥クラスの識別を学習するためのディープ・ラーニング分類または物体検知のモデルを作成し、製品または部品の画像に含まれる物体を検出し、さらに学習、テスト、検証、物理エッジまたは仮想エッジへの導入、およびバージョン管理を通じて、当該モデルのライフサイクルを管理します。1 TB の永続的ストレージが含まれます。

1.2.7 IBM Maximo APM for E&U – Visual Insights Training

本サービスにより、ユーザーは、アップロードされた画像を用いて IBM Visual Insights 内で作成された分類モデルまたは物体検知モデルの学習を実行することができます。IBM Visual Insights サービスでモデルの学習または再学習を実行するために使用される「アイテム (画像)」の数は、毎月末日に算出され、使用量に応じてサービスの料金がお客様に請求されます。

1.2.8 IBM Maximo APM for E&U – Visual Insights Scoring

このオプションのスコアリング・サービスは、サブスクリプション・ベースで利用可能です。「クラウド」の IBM Visual Insights Center で学習されたモデルを、そのようなオプションのエッジに導入でき、画像を当該エッジにスコアリングのために送信できます。スコアリングの結果は、「クラウド」において Visual Insights ソリューションで監視およびレビューできます。

1.2.9 IBM Maximo APM for E&U – Storage

本「クラウド・サービス」は、「クラウド・サービス」により提供される機能をサポートするために、追加として 1 TB の永続的ストレージを提供します。

1.3 アクセラレーション・サービス

1.3.1 IBM Maximo APM for E&U – Setup Instance

このセットアップ・サービスを使用すると、ユーザーおよび資産に対する「クラウド・サービス」の請求期間の開始前に「クラウド・サービス」をアクティブ化することができます。「User」はアクティブ化の期間中「クラウド・サービス」へアクセスできません。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、下記リンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション (処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様書に関連) に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1400256238509>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「許可ユーザー」とは、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) 「クラウド・サービス」へのアクセス権限を付与されている特定のユーザーを指します。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「同時ユーザー」は、いずれかの時点で、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイス、またはアプリケーション・サーバーを通じて)、「クラウド・サービス」に同時にアクセスするユーザーの数になります。複数回「クラウド・サービス」に同時アクセスしているユーザーは、1人の「同時ユーザー」としてカウントされます。
- 「アセット」とは、「クラウド・サービス」がアクセスまたは管理する、一意に識別される価値のある有形のリソースまたは項目をいいます。
- 「テラバイト」(「TB」)とは、「クラウド・サービス」によって処理されるか、「クラウド・サービス」において分析、使用、保管、または構成される、2の40乗バイトのデータです。
- 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが1回発生することをいいます。

「アイテム」とは、このトレーニング・サービスを用いて当該モデルの学習で使用されたり、またはスコアリング・サービスを使用して障害を分析したり、組み合わせを検証する部品や機器の画像です。

4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 イネーブリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」には以下の「イネーブリング・ソフトウェア」が含まれます。

- IBM Cognos Framework Manager
- BM Data Server Runtime Client
- IBM SPSS Modeler Premium
- IBM SPSS Collaboration and Deployment Services
- IBM SPSS Statistics
- IBM SPSS Data Access Pack
- IBM Integration Bus
- IBM ILOG CPLEX Optimization Studio

5.2 クラウド・サービス作成物

「クラウド・サービス作成物」は事前に定義され、事前に構成されたさまざまな資料で、予測可能モデル、ビジネス規則、メッセージ・フロー、ビジネス・インテリジェンス・モデル、レポート、ダッシュボード、マスター・データ管理モデル構造、データ・スキーマを含みますが、これらに限定されません。「クラウド・サービス作成物」は、関連する「クラウド・サービス」ユーザー・ガイドの「クラウド・サービス作成物」リストに記載されています。

お客様は、「クラウド・サービス」を使用して、「クラウド・サービス作成物」を変更するか、または「クラウド・サービス作成物」を新規作成することができます。「クラウド・サービス作成物」は、この「クラウド・サービス」と別個に使用することはできません。お客様による「クラウド・サービス」へのアクセスが終了した場合、お客様はお客様のシステムからすべての「クラウド・サービス作成物」を削除し、すべてのコピーを破棄しなければなりません。

IBM のテクニカル・サポートは、カスタマイズされた「クラウド・サービス作成物」については提供されません。

5.3 IBM SPSS Data Access Pack

「IBM SPSS Data Access Pack」は、「イネーブリング・ソフトウェア」である「IBM SPSS Modeler Premium」による使用に限定して提供されます。

お客様がバックアップ、リカバリーおよび許可された構成など「IBM SPSS Data Access Pack」の管理機能を実行することを目的として「IBM SPSS Data Access Pack」にアクセスする場合を除き、お客様またはアプリケーション、プログラムもしくはデバイスのいずれも「IBM SPSS Data Access Pack」サービスの直接使用やサービスへの直接アクセスを許可されていません。

5.4 IBM 気象コンテンツ

「気象コンテンツ」とは、過去の気象データおよび気象予報データ (予報、天気図、注意報・警報および図表を含みますが、これらに限定されません。) をいいます。

5.4.1 サービスの終了

お客様のサブスクリプションの満了または終了と同時に、お客様は、ただちに「気象コンテンツ」の使用をすべて中止し、すべての「気象コンテンツ」をお客様のシステムからすみやかに削除するものとします。

5.4.2 利用に関する制限

「気象コンテンツ」のお客様による使用は、お客様の社内使用にのみ制限されます。お客様は、以下のいずれも複製、再配布、再送、実演、譲渡、再使用許諾、外部に表示または展示することはできません。

- 「気象コンテンツ」の全部または一部
- 「気象コンテンツ」を使用した結果として到達した何らかの結果、結論または洞察で(以下「派生コンテンツ」といいます。)、過去、現在または未来の天候や大気の状態に関する情報またはその分析を提供することを本質的な目的として、直接・間接に関わらず、形式・方法を問わず、第三者(お客様の顧客、ビジネス・パートナーまたは製品のエンド・ユーザーなど)にアクセスが提供されるもの(以下「第三者対応アプリケーション」といいます)。お客様が「第三者対応アプリケーション」の一部として「派生コンテンツ」の表示を実行または許可する限りにおいて、お客様は、「派生コンテンツ」もしくは「派生コンテンツ」により促進された、またはそれに関連したあらゆる製品およびサービスを、IBM が提供、裏付け、支援、認定、承認することを、直接的にも間接的にも示唆しないものとします。

お客様は、「クラウド・サービス」および「気象コンテンツ」を、ターゲットを絞った広告やトリガー方式の広告として使用すること、テクノロジーに接する消費者ユーザーの所在地に関連する「気象コンテンツ」に基づいた広告(天気が誘因になる広告など)を提供すること、また「クラウド・サービス」および「気象コンテンツ」をマーケティングやコンテンツ・ベースの意思決定のために利用しないものとします。

お客様は、「気象コンテンツ」を、テレビやラジオ放送(無線、有線、衛星放送など)、または、あらゆる方法や媒体を通したり、使用したりして配信されたサブスクリプション方式のストリーミング・サービス(Sling Television、Netflix、Hulu、Amazon Prime Video、HBO GO、またはラジオに相当するものなど)により提供される種類のオフリングの一部として使用しないものとします。

お客様は、API ならびに関連する仕様および文書は IBM の機密情報であり、本「サービス文書」の条件に従わない使用および開示は認められないことに同意します。

お客様は、IBM が、自己の裁量で、「気象コンテンツ」のスタイル、形式、または内容を随時変更することができ、また「気象コンテンツ」の部分を除外または中止できることを了承します。ただし、IBM は、「気象コンテンツ」の重大な変更に関して、同様の立場にある顧客に連絡する際には、連絡先にお客様を含めるものとします。

「気象コンテンツ」は、本「サービス文書」の条件に従って「クラウド・サービス」と関連する場合のみ使用することができます。「気象コンテンツ」は、本「クラウド・サービス」と別個に使用することはできません。

5.4.3 国別の利用制限

お客様は、お客様による「気象コンテンツ」の使用が許可されるか否かを自ら判断し、必要な場合は、「気象コンテンツ」を実行または使用する国や地域において、必要なすべての使用許諾、許可、承認もしくは認可を政府機関から取得する責任を負います。また IBM の本「サービス文書」に基づく義務は、上記を条件とします。